

チョー（長・跳・超）研!!

長研通信

梅雨入りして雨の日が多くなりました。足元には気を付けましょう！



第3号 令和5年6月26日

文責 教育経営部組織マネジメントI①チーム

組織マネジメントI①チームを紹介します。

今回長研通信を担当する組織マネジメントI①チームは、中学校所属の2名と小学校所属の1名、計3名のチームです。「組織マネジメントI①」の共通テーマは、「組織の活性化」です。

5月・6月に実施された研修の一部を紹介します。

①研修計画書を提出しました。

先月、研究構想をまとめた研修計画書を福岡県教育委員会に提出しました。これまでプロジェクトチーム会議で、先行研究等を基に「目指す組織の具体」などについて、指導主事と共に内容を検討してきました。協議を重ねていく中で、それぞれの研修員が研究の方向性を見いだすことができました。今後は、実態調査を通して課題を把握し、目指すゴール像や手立てについて再検討していく予定です。チームで協力し、より実りある研究にしていきます。

②福岡教師塾が開講しました。

令和5年度福岡教師塾が5月26日（金）に開講しました。福岡教師塾は、リーダーに求められる力を身に付けるために、各界の専門的知識・技能を有する講師を招聘して講義や演習を行う「視野や視座を広げる研修」、異校種の受講者同士による熟議を通して課題解決の方策を共に創り出そうとする「共創する研修」、所属校の教育課題や経営課題の解決に向けた取組を創造、企画、実践する「在籍校の課題解決に資する研修」の3つの研修を行います。今年度から長期派遣研修員も塾生として年間を通して参加しています。

第一回 福岡教師塾

「福岡教師塾生に期待すること」

福岡県教育庁 副教育長 上田 哲子 氏

「学校は人を幸せにするためにある 一誰のための、何のための学校、教育かー」

長崎県立大学 学長 浅田 和伸 氏

仲間と共に「0 から 1」を創り出す喜びや価値を実感！
「教育の未来」を展望し、教育者としての「志」を立てることができる研修……。それが「福岡教師塾」です！



「福岡教師塾生に期待すること」

上田氏の講話では、平成23年に教師塾が開設された当時のことや「今」の教育のキーワード、「Diversity & Inclusion」社会のリーダーとして目指すべき方向を示していただきました。参加した塾生からは、「『多様性を尊重する組織のリーダーとして、組織のすべてを把握することが大切なのではなく、根本を考えることが大事』という言葉聞き、今後、組織を動かしていく際の参考にしたいと思った」等の感想が聞かれました。今後の研修に向けて、研修員それぞれの意識が高まる講話となりました。

「学校は人を幸せにするためにある 一誰のための、何のための学校、教育かー」

国立教育政策研究所前所長で、4月から長崎県立大学学長に就任された浅田和伸氏より講義を受けました。講義では、「学校で一番大切なこと」や「変わりゆく社会とこれからの教育」についてなど、今後、私たち塾生が目指していくべき道について、方向を示していただきました。浅田氏の情熱と力強さに圧倒され、あっという間に時間が経過したように感じました。塾生からも「『何ができるかではなく、何かできることもある』という言葉が胸に響いた。これからは一人一人の子どものために行動していきたい」等の感想が聞かれました。教師を志した当時を思い出す、とても心に響く講義となりました。

企画・運営研修「開」

午後の研修では、企画・運営研修「開」について協議、リフレクションを行いました。現在、多くの学校でも活用されている Google Classroom を使用しながら研修を進めていきました。協議では、「理想の学校とはどのような学校なのか」について、全60名の塾生が15グループに分かれて討論しました。その後、ワールドカフェ方式でほかの塾生にプレゼンし、意見交流をしました。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、それぞれ違った視点で対話を行うことができ、これから目指す教育に向けて、視野や視座を広げることができました。

